

持続可能な町内会活動は？

アンケートの集計結果から

栗田町内会が先ごろ隣組

長を対象に実施した「隣組実態調査アンケート」の集計が、このほど終わりました。持続可能な町内会組織の在り方などをめぐり、今後の町内会活動に生かすことが目的で、町内233ある隣組のうち161組から回答を得ました（回答率69%）。

事前に設けた設問では、①「空き家等が増えて、隣組内の世帯が減少している」に20件、②「高齢者世帯が増え、隣組長や他の役員を受けける世帯が減少している」に41件、③「町内会活動に関心がない世帯があり、隣組活動に支障をきたすことがある」に31件、④「個人情報保護の観点から、各世帯の状況を把握しづらくなっている」に58件、それぞれ「該当する」との回答があり

ました（複数回答）。

自由記述の問題点、意見や要望では、高齢化への対応、転勤者や共働き世帯が増えたことによる町内会活動を共有することの難しさ、役員選出の苦勞、町内会活動のスリム化などを指摘する声寄せられました。

栗田町内会は、個人情報保護の意識の高まり、住民の高齢化や、転入者、転勤者が増加している状況を踏まえ、災害時の共助態勢など町内会活動の役割を知ってもらうために、近隣世帯同士との一定のコミュニケーションが必要、との立場から隣組の統合など実態に即した見直しをする時期に来ていると判断をしています。ただ、隣組の線引き見直しは、地域ごとに事情が異なることから、地域の意思を尊重したい考えです。

組ごとのアンケート結果は理事にフィードバックし、今後の隣組の在り方を考える材料にもらうことにしています。

連絡網にLineを活用 栗田町内会が今年度より

栗田町内会は、令和6年度から、緊急時を含む一斉連絡体制を基本的にLine（ライン）化します。災害時の緊急連絡は、同一の情報を短時間（二斉）に関係者に対し行う必要があるため、中間のやり取りの手間を省き、情報の行き違いも防げると判断しました。加えて、町内各団体との連絡対応にも利用でき、紙ベースのやり取りも極力減らせることから、町内会は省エネにもつながるとしています。

関係者がスマホを所有していないなど、個別のケースには別途対応を検討することにしています。

みんなであら考えよう

【連想クイズ】

（答えは4面に）

① まず、□にカタカナを入れてください。漢字表から二字熟語が八つつくれます。それがヒントです。ただし、すべての漢字を一度ずつ使います。

ヤ □ □ ミ □ □
ニ □ □ ワ □ □
ジ □ □ ジ □ □
イ □ □ ト □ □
ウ □ □ ケ □ □
ベ □ □ ト □ □
シ □ □ ツ □ □
チ □ □ ウ □ □

《漢字表》

当川 眺望
山 憩 水道
弁 神 筒 休
社 望 谷 出

② ①の八つの熟語から連想される学校行事を、次のA～Cから選んでください。それが答えです。

- A 運動会
- B 遠足
- C 学芸会

